

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名： 環境アニメイテッドやお

記入者名： 岡見厚志

上位関連計画にみる地域の将来

- パリ協定における日本の目標：2013年度比で2030年までに26%削減、さらに2050年までに80%削減
- 第5次エネルギー基本計画における、2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率：22~24%、2030年に実現を目指す実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量/実質GDP）35%減。
- 現在の人口：263,899人、将来：247,156人（2030年）、219,128人（2045年）（日本の地域別将来推計人口（平成30年推計））
- 地域の総合計画に示された将来目標 ※現在、八尾市にて計画改定中のため、将来ビジョンは検討中。
- 地域の環境分野の上位計画の将来目標 ※現在、八尾市にて計画改定中のため、将来ビジョンは検討中。

②具体的なアクション

- ・八尾廃校SATODUKURI BASEの運営をリーラボ及びニッポンバラタナゴ高安研究会が中心となり行い、域外の住民に魅力を発信する。
- ・NPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会が主体となり、ニッポンバラタナゴの保全活動を行う。
- 保全のために、保護池の確保、農地の確保、無農薬の農作物の販売等を行う。
- ・同会が主となり、きんたい廃校博物館を運営して、地域住民や域外住民に情報発信を行う。（廃校の管理は、まちづくり協議会）
- ・同会及びリーラボと中小企業が協力し、きんたいを軸とした生態系サービスを活用した商品開発（体験の開発）を行う。
- ・NPO法人ナックが主となり、エコツアーや廃校キャンプなどを実施する。
- ・八尾市が中心となり新たなネットワークを構築し、高安の生態系サービス（間伐材、剪定枝）の活用について研究・検討する。

①目指すべき姿

- ※どのような地域にしたいのか、何を引き継いでいきたいのかなど、具体的にお書きください
- ため池でニッポンバラタナゴが泳ぎまわる景色が当たり前。
- ・きれいな水を守りたい
- ・豊かな森林を増やしたい
- 高安の生態系サービスを利用し、少しでも食料やエネルギー等を自給している。
- ・環境保全型農業を増やしたい
- ・休耕地を減らし、伝統産業の河内木綿を復活したい
- ・地域でエネルギーを賄いたい
- ●週末になると若い家族が高安にオーガニックな農業を体験しにきたり、それをきっかけで移住する家族も出てくる。
- ・関係人口、交流人口を増やしたい
- ・高安小中学校を維持したい

③短期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値	実績値	単位
				(2020年度末)	(2020年度末)	
環境	ため池の状況	保護池の数	6	10	8	箇所
	環境配慮型農業の状況	河内木綿の生産数（反数）	1	2	2	反
経済	財源が充実する	活動に協力する企業数・団体数	23	30	26	件
	財源が充実する	キンタイ米の作付け面積	3	5	3	反
	地域外から稼いでくる	地域ブランド品の開発件数	2	7	5	件
	地域外から稼いでくる	エコツアーの実施回数(主催のみ)	1	3	0	回
社会	市民の関心が高まる・認知度が高まる	メディア掲載件数(自然環境)	5	10	7	件
	市民の関心が高まる・認知度が高まる	きんたい廃校博物館の開館日	4	12	12	日
	人口維持	空き家の活用数	3	5	5	件
	人口維持	使用可能な空き家を増やす	5	8	5	件

④長期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値	目標年度	目標値	単位
				(2020年度末)	2030-2050年度	(2020年度末)	
環境	ため池の状況	ニッポンバラタナゴの生息数	20000	50,000	2030年度末	200,000	匹
	ため池の状況	保護池の数	6	10	2030年度末	20	箇所
	環境配慮型農業の状況	河内木綿の生産数（種付きの綿量）	50		2030年度末	1,000	kg
	温室効果ガスの排出量	市域の二酸化炭素排出量2013年度比			2030年度末	26%以上削減	
経済	財源が充実する	キンタイ米の販売量	300		2030年度末	1,000	kg
	地域外から稼いでくる	地域ブランド品の販売額（売上）	150		2030年度末	10,000	千円
	地域外から稼いでくる	エコツアーの参加者数(主催のみ)	30	100	2030年度末	1,000	人
社会	市民の関心が高まる・認知度が高まる	八尾市の自然環境に対する理解度	13.0		2030年度末	20.0	%
	市民の関心が高まる・認知度が高まる	廃校への来場者数	10,000		2030年度末	50,000	人
	人口維持	高安小中学校の生徒数	456		2030年度末	600	人
	人口維持	空き家の活用数（高安地域）	3		2030年度末	100	件

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

ニッポンバラタナゴを保全することにより、生態系サービスが維持されるため、生態系サービスを活用した産業（花卉栽培、造園業、農業、養魚等）は持続できるようになる。その結果、地域ブランド品の販売額や開発件数は増加する。

また、八尾廃校SATODUKURI BASEにて、きんたい廃校博物館、木育教室などで生物多様性を情報発信することにより、メディア掲載件数も増加、その結果、八尾市民の自然環境に対する理解度も増加する。

更に、自然環境が豊かで環境教育、郷土教育、木育などの教育（エコツーリズム）に力を入れることで、子育て世代の流入が望めるため、地域の小中学校の生徒数が増加する。

また、空き家の活用をすすめ、魅力的な移住者の情報を発信することで、移住の促進を図る。

※環境・経済・社会がどのように関係し合い、相互に高まっていくのか具体的にお書きください